



HOSHIBA

医療法人社団星秀会

# ほしば歯科医院ニュースレター

Vol.64

今年は、すがすがしい新緑の季節をあまり楽しめないまま、梅雨に突入してしまいそうなパツとしないお天気です。お天気が悪かったり、体調がすぐれないと、人は「ごめんなさい」や「ありがとう」「こんにちは」「ごちそうさま」「おやすみなさい」などの当たり前の感謝の言葉やあいさつができなくなる傾向があるのだそうです。これらの言葉は言った人も言われた人も、ほっとできたり優しくなれる大切な言葉なのに困った傾向です。今年のように、なかなか気持ちのいいすがすがしい天気にならない時には困ったことです。



でも、こんな傾向とは関係ない人も沢山いますよね。先日海外旅行をしたNさんは「英語なんて話せないから『Thank you ありがとう』『I'm sorry ごめんなさい』『You are welcome どういたしまして』だけ使ってたけどみんな笑顔でやさしかった」と嬉しそうに話してくれました。ちなみに、お天気も体調もいまいちだったそうです。

また、知人のTさんは、咽頭がんのため、病巣と共に声帯も除去する手術をうけたため、残念なことに『声』を失うことになりました。Tさんは術後、声が出せなくなることを想定してベットの枕元に『お世話になります。よろしくお願ひします』と書いた色紙を貼っていました。また、『痛い』『苦しい』『暑い』『寒い』などの訴えを書いた小さなカードも用意していました。その中には『ありがとう』と書いたカードもありました。きっとTさんは声を失うという大きなハンディとも上手につきあいながら、これからも頑張っ素敵な人生を送ることでしょう。

人の心を穏やかにする言葉「ありがとう」「ごめんなさい」「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」「いただきます」「ごちそうさま」「おはよ

う」「おやすみなさい」などなど、どれも短くて誰でも知っている簡単な言葉です。大切にしましょう。



## ジェネリック医薬品



『ジェネリック医薬品』ということばを最近テレビや新聞の広告などでよく見かけるようになりました。でも、ただ安いことだけが強調されているようで、正確な情報が伝えられていないようにも思えます。

『ジェネリック医薬品』とは、薬の開発をした会社の特許期間（医薬品の特許期間はおおむね20年といわれている）が切れた後、別の会社により同じ成分、同じ効果を持つものとして製造・販売される薬のことです。新薬の研究・開発に要する費用（新薬の研究から申請、承認にはおよそ15年～17年かかるといわれている）がかからない分、それだけ値段が安くなるというしくみです。

しかし、「同じ薬」といっても、製造する会社が異なれば製造過程や条件がまったく同じとは言い難いかもかもしれません。極端な例えをするならば、野菜や肉類などの食料品の国内産と国外産の違いと考えることもできます。

国民の医療費の総額は年々増大し、患者さんの自己負担率も高くなり、病院の治療費未回収の額も増加しているのが現状です。『ジェネリック医薬品』が求められるのは自然の流れといえるかもしれませんが。

けれど、ただ安いことを協調している今の風潮には疑問があります。たとえば、鳥インフルエンザの特効薬とされた『タミフル』の不足が世界的な問題となりましたが、あれは、『タミフル』の特許期間が切れていないために『ジェネリック

医薬品』の活用ができずに不足してしまったのです。ひとつの製薬会社では、製造量には当然限界がありますからね。もしも、ジェネリック医薬品が認可されていれば対応は可能だったのです。

利点や欠点も含めて正確な情報のもとに患者さんが選択できるようになればいいのにとおもいます。

ご意見はこちら

ほしば歯科医院へのご意見、ご感想、その他何でも受け付けております。どのような方法でも結構ですからお気軽におっしゃってください。

電話 03-3686-4657

ファックス 03-3877-7771 (院長直通)

E-mail info@hoshiba.net

<http://www.hoshiba.net>



## お母さんの歯



お母さんの中には、こどもの歯には目が行くのに、ご自身の歯は後回しになっている方もいるのではないのでしょうか。



「こどもができて急に歯が悪くなったんです。歯のカルシウムをお腹の子に取られてしまったせいかしら」というお母さんの話を耳にすることがありますが、これはウソです。大人の歯の表面からカルシウムが取られるなんてことはありません。

原因は主に「つわり」にあります。つわりの時には歯ブラシを使えない時期が多くなるために、歯が磨けなくなり、むし歯や歯周病を悪化させるのです。また、お産の後も、何かと不規則な生活になるために、ついつい歯ブラシが後回しになってしまいがちです。

けれど、お母さんのむし歯菌を放置したままにしていると、食事を細かく噛み砕いて与えたり、熱いものをフーフーと冷ましてあげたりなどの動作により、お子さんに感染してしまう恐れがあります。大切なお子さんの歯を守るためにも、まずはお母さん自身の歯を大切にしましょう。

## お知らせ



現在、江戸川区歯科医師会で要職を務めさせていただいております。これも地域のため、皆様のためと信じ頑張っていきたいと思っています。ただ、会議が毎日のように入り、診療時間を短縮する日が増えております。予約がなく、閉院時間近くにご来院される方は、ぜひ一度ご連絡ください。尚、ご迷惑をおかけいたしますがしばらくの間、木曜日は休診とさせていただきます。

## 編集後記

今年の梅雨は長くなりそうだとのこと。憂鬱な話ですが、ひとつだけ楽しみがあります。ほしば歯科医院の小さな花壇にある、『額あじさい』が今年はいくつ花を咲かせてくれるか、ちょっと目を留めてみてください。

ほしば歯科医院ニュースレター 第64号  
発行日 2006年5月20日発行

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西1-13-7  
tel. 03-3686-4657 fax. 03-3877-7771  
e-mail. info@hoshiba.net  
<http://www.hoshiba.net>  
発行責任者 干場貴司